**「おくのほそ道」連句会(　　 )班**

**3年(　　 )組( 　　)番 名前(　　　　　　　　　　　　 )**

＜詠み方のコツ・ポイント＞

➀作者名は俳号（ペンネーム）にしても、実名でもよい。ペアの場合は連名にする。

②連句の長さは発句から六句目までとする。(575→77→575→77→575→77)

③発句は「おくのほそ道」に出てくる芭蕉の一句とする。

（詠まれた季節、状況、エピソードについては、俳句すごろくのコマを参考にする。）

④脇句は、芭蕉の気持ちを思い浮かべて、それに応えて詠む。

（短歌の下の句(77)を付けるように、芭蕉の発句と同じ季節、同じ時間帯の内容にする。）

⑤第三句からは変化を意識して付ける。季節や場面を変えて発想を自由に広げていく。

⑥定型（575／77）をできるだけ守る。（字余りは可。字足らずは不可）

⑦【恋】の句を３句目以降に必ず入れる。

⑧なるべく四季を入れよう。

⑨同じ題材や言葉は一巻に一つ。生活・社会のいろんな場面を描こう！

⑩協力と強調で、楽しく良い作品を作ろう！

＜進行方法＞

❶付け順を決めて、一人またはペアで順に詠む。→みんなで推敲して完成する。

❷推敲した作品をタブレットで撮影し、提出をする。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| № | 名 称 | 句 | | | | 作者名 |
| 1 | 発句  (575) |  |  | |  | 芭蕉 |
| 2 | 脇句  (77) |  | |  | |  |
| 3 | 第三句  (575) |  |  | |  |  |
| 4 | 第四句  (77) |  | |  | |  |
| 5 | 第五句  (575) |  |  | |  |  |
| 6 | 挙句  (77) |  | |  | |  |